

臨教第 51 号議案

令和 8 年度再編・統合及び学科改編対象校の設置計画について

別紙（案）のとおり

令和 7 年 3 月 24 日提出

神奈川県教育委員会

教育長 花 田 忠 雄

（提案理由）

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）に基づき、令和 8 年度に再編・統合及び学科改編により設置する新校及び新学科の設置計画を決定いたしたく提案するものです。

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）

横浜北東・川崎地域
単位制総合学科クリエイティブスクール
（田奈高校・麻生総合高校）
設置計画（案）

令和7年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 田奈高等学校 麻生総合高等学校
- (2) 位置 田奈高等学校敷地（横浜市青葉区桂台 2－3 9－2）
- (3) 実施年度 令和 8 年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新しい高校として、総合学科（クリエイティブスクール）に改編し、きめ細かな生徒支援と将来の就労等に向けた職業指導等、幅広い学びの実現を図る。
- 両校がこれまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、生徒の自己実現を支援する体制を構築し、生徒一人ひとりの目的意識を持った進路選択を実現できるように取り組む。
- 生徒一人ひとりにきめ細かな支援ができるよう、1 クラスの人数を 3 0 人程度で編成し、複数担任制を取るクリエイティブスクールのシステムに継続して取り組む。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制総合学科（クリエイティブスクール）の県立高校としての教育の展開
- 総合学科（クリエイティブスクール）としての学習の取組みと教育の展開
総合学科（クリエイティブスクール）として、学び直しを通じてわかることが実感できる学びを提供し、一人ひとりの進路希望の実現に向けた指導ときめ細かな支援に取り組み、社会の一員として自己の未来を創造することができる人材を育成する。
- 生徒支援、教育相談の充実
集団での活動による人間関係づくりの工夫、相談室・ラウンジ等の居場所づくり、専門家による支援や関連機関との連携・協力を通して、すべての生徒への相談・支援に取り組む。

○ 地域との協働の推進

地域の教育資源を積極的に活用し、体験的な学びや地域等との交流を通して、自己有用感を高め、人や社会との関わりを大切にする心を育成する。

4 設置形態

- (1) 課 程 単位制による全日制の課程
- (2) 学 科 総合学科（クリエイティブスクール）
- (3) 学校規模 480名程度（各学年160名程度 4学級規模を6学級展開）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学 期 2学期制
- (6) 履修形態 総合学科の原則履修科目を履修したうえで、各自の進路希望や特性、興味・関心に基づく科目を選択
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	6校時時程（週5日）
ショートホームルーム	8：50～8：55
1 校 時	9：00～9：50
2 校 時	10：00～10：50
3 校 時	11：00～11：50
4 校 時	12：00～12：50
昼 休 み	12：50～13：35
5 校 時	13：35～14：25
6 校 時	14：35～15：25
ショートホームルーム	15：25～15：35
清掃	15：35～15：45

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。
学力検査を課さず、「特色検査（面接及び自己表現検査）」を実施する。

6 教育課程

(1) 基本的方針

- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 生徒一人ひとりが主体的に進路を開拓することができるよう、学び直しを含めた生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得と、新たな可能性との出会いをめざした学習機会の確保を目標とし、総合学科として適切な科目配置を行う。
- 原則必修科目「産業社会と人間」及び専門教科・科目（専門教科に関する学校設定科目を含む）を合わせて25単位以上設ける。
- 総合学科として、「グローバル教養系列」、「情報ビジネス系列」、「生活デザイン系列」、「芸術スポーツ系列」の4つの系列を設置し、各系列の目標や内容に応じた学習を可能とする科目を適正に配置する。
- 専門教育における産業教育系の科目については基礎的・基本的な科目を精選して設置する。

(2) 教育展開の方針

- 義務教育段階からの基礎的・基本的な学力の定着と、その学力を基盤とした社会的自立に必要な汎用的能力の育成を目標とした学び直しを展開する。
- 将来の職業選択・進路目標を視野に入れた原則必修科目「産業社会と人間」におけるキャリア教育を実践する。
- 生徒一人ひとりの興味・関心に応じた科目を系統的に学習するため、必修科目、原則必修科目「産業社会と人間」、学校必修科目及び選択科目をバランスよく配置し、生徒が選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。
- 地域の人材や施設、イベント等との連携を図り、ボランティア活動やインターンシップ等の学校外活動や学校外での学修における学びを積極的に推進する。

(3) 編成の方針

- 単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ必修科目を定めることを基本とした教育課程による運用に取り組む。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や進路希望に対応するため、これまで両校が取り組んできた成果をいかした多様な科目を適切に設置する。
- 学校外活動や学校外での学修成果による単位認定を行う。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 総合学科 (クリエイティブスクール)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 年次	現代の 国語②		言語 文化②		公共 ②			数学 Ⅰ③		科学と 人間生活 ②		体育 ②		保健 ①	Ⅰ 音楽 Ⅱ②	Ⅰ 美術 Ⅱ②	Ⅰ 英語 Ⅱ③	Ⅲ③		家庭 基礎②		情報 Ⅰ②		産業 社会と 人間②		教養 Ⅰ②		L H R ①		
2 年次	国語 表現③		地理 総合②		歴史 総合②		生物 物理 基礎 ／ 化学 基礎 ②		体育 ③		保健 ①	教養 Ⅱ②		⑩ 系列 ／ 自由 選択 ⑫ (必修 選択 ②)														総合 的な 探究 の 時間 ②	L H R ①	
3 年次	体育 ③													⑩ 系列 ／ 自由 選択 ⑫ (必修 選択 ⑧)														総合 的な 探究 の 時間 ①	L H R ①	

教育課程表は予定であり、変更することがある。

< 系列選択科目 >

〔グローバル教養系列〕

論理国語②、文学国語②、古典探究②、文学研究 (国) ① (短期集中)、
 地理探究②※、日本史探究④※、世界史探究④※、
 地域で生きる (地歴) ① (短期集中)、近現代と神奈川 (地歴) ②、倫理②、
 政治・経済②、暮らしの中の法律・経済 (公) ②、数学Ⅱ④、数学Ⅲ④※、
 数学A②、数学B②、数学C②、物理基礎②、物理④※、化学④※、生物基礎②、
 生物④※、地学④※、英語コミュニケーションⅡ④・②※、英語コミュニケーションⅢ④※、
 論理・表現Ⅰ②、論理・表現Ⅱ②※、ハンガルの世界 (国際) ②、
 スペイン語の世界 (国際) ②、中国語の世界 (国際) ②、教養Ⅲ (教養) ②※

〔情報ビジネス系列〕

情報Ⅱ②、〔情〕コンテンツの制作と発信②、〔商〕ビジネス基礎②、
 〔商〕簿記④、〔商〕ソフトウェア活用②、アントレプレナーシップ (商) ②、
 AIとビジネス (商) ②、マネーリテラシー (商) ②

〔生活デザイン系列〕

〔農〕 農業と環境④、〔家〕 保育基礎②、〔家〕 ファッション造形基礎②、
 〔家〕 フードデザイン②、〔福〕 社会福祉基礎②、〔福〕 介護総合演習②※、
 いのちと健康（人間）②、心理学入門（人間）②

〔芸術スポーツ系列〕

音楽Ⅱ②、音楽Ⅲ②※、美術Ⅱ②、美術Ⅲ②※、工芸Ⅰ②、書道Ⅱ②、
 書道Ⅲ②※、幼児教育音楽（芸）②、書道の世界（芸）②、
 芸術作品研究（芸）①（短期集中）、〔体〕 スポーツⅡ②※、〔美〕 素描②、
 〔美〕 ビジュアルデザイン②、陶芸（表現）②、演劇基礎（表現）②、
 演劇実践（表現）②※、身体表現（表現）②

※ 3年次で選択することができる科目。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

<主な科目>

アントレプレナーシップ（2単位）

企業経営の仕組みを戦略、組織、財務、経営哲学等の様々な観点から学ぶ。外部機関と連携した課題解決型学習の中で、集団での仮説構築、議論、発表の過程を繰り返し、社会集団において発揮すべきリーダーシップの体得をめざす。

介護総合演習（2単位）

社会福祉基礎で学習した内容を踏まえ、さらに実践的・体験的な学習活動を行う。地域の福祉施設と連携した実習を取り入れることで、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力の育成をめざす。

教養Ⅰ・教養Ⅱ・教養Ⅲ（各2単位）

義務教育段階での学習の確実な定着及び高等学校における学習内容の基礎固めのため、体系的・系統的な学習活動を展開する。学習への興味・関心を高め、高等学校の学習内容の確実な定着を図るとともに、卒業後に必要な社会人としての教養を身に付けることをめざす。

(5) 学習指導の工夫

- 総合学科の特色をいかし、実践的・体験的な学習を重視するとともに、クリエイティブスクールとして学び直しを必要とする生徒の多様な能力や個性に対応した豊かな学びを提供する。
- 少人数クラス編成や複数担任制を活用しながらきめ細かな支援に努め、基礎学力の定着を図る。
- 「総合的な探究の時間」を中心に探究的な学びや表現活動を充実させ、主体的に学ぶ姿勢や課題解決能力の伸長を図る。
- 生徒一人ひとりの学習に対する興味・関心を高めながら、他者との協働的な学びを充実させることで、卒業後も社会において学び続ける姿勢を育む。

(6) 生徒指導等の工夫

- 生徒に対する理解を深め、生徒一人ひとりに最適できめ細かな支援を行うことで自己肯定感を醸成する体制を整える。
- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動において、学校生活の向上を図り、主体性や自立心を育み、生徒相互の好ましい人間関係の構築をめざした支援を行う。
- 教育活動全体において、生徒が抱える課題を把握しながら、スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）や外部機関との連携を図り、生徒が周囲との信頼を深め、社会性を身に付けられるような支援を行う。

(7) 進路指導の工夫

- インターンシップをはじめとする様々な実践的・体験的な活動を通して、主体的に社会に参画する意識を養いつつ、自己の在り方生き方を考え、豊かな社会生活をおくることができる人材を育成する。
- 地域との協働を通して、社会と自分との接点を意識することで、自己有用感の醸成を図り、将来の自分像を見据えたキャリア形成を促す。
- 卒業後の社会的な自立を見据えた履修指導と、体系的なキャリア教育を行い、生徒の自己実現を支援する。

(8) 学校経営

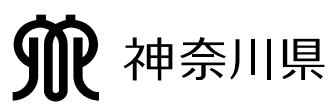
- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- 両校がこれまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における単位制総合学科（クリエイティブスクール）の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における単位制総合学科（クリエイティブスクール）の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）

中・県西地域
普通科・専門学科併置校
（小田原城北工業高校・大井高校）
設置計画（案）

令和7年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 小田原城北工業高等学校 大井高等学校
- (2) 位置 小田原城北工業高等学校敷地（小田原市栢山200）
- (3) 実施年度 令和8年度

2 設置の目的

- これまで両校が取り組んできた教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、幅広い地域資源を活用した様々な連携事業を実施し、これまで以上に密接な地域連携活動を展開する。
- 普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）を併置することによって多様な科目の配置が可能となり、進学や就職に向けた学力の向上、技能を身に付けることや資格取得をめざすこと等、幅広い学びの実現を図る。
- 小田原城北工業高校における地域企業や自治会との連携を通して地域産業を担う人材を育成する取組みと、大井高校における福祉教育やクリエイティブスクールとしてのきめ細かな学習指導による確かな学力の定着をめざす取組みを共有し、生徒一人ひとりが目的意識を持てる進路選択の実現を図る。

3 基本的コンセプト

- 学年制による普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）を併置する県立高校としての教育の展開
- 創造力と実践力により地域の発展等に主体的にかかわることができる人材の育成をめざす。
- 各学科における教育の推進
 - ア 普通科（クリエイティブスクール）

普通科（クリエイティブスクール）として、学び直しから基礎学力（確かな学力）の定着に取り組み、教育活動全体を通して重点的にコミュニケーション能力の育成を図るとともに、正しい生活習慣やモラル、マナーを身に付けることで、地域社会を担う自立した社会人を育成する。

イ 専門学科（工業）

専門学科（工業）として、実践的・体験的な学習活動を充実させ、自ら課題を発見し、他者と協働しながら課題を解決する力を育むとともに、企業や大学、専門学校や地域社会と連携した教育を展開することで、地域産業を担う将来のテクノロジストを育成する。

○ 学科併置をいかした幅広い教育活動の展開

普通科（クリエイティブスクール）で実践してきた、わかることが実感できるきめ細かな学習指導を専門学科（工業）でも共有し、確実な学力を育成する。

専門学科（工業）で実践してきた資格取得等を普通科（クリエイティブスクール）でも共有し、確かな知識や技能を身に付ける。

学科併置の強みをいかした教育課程を編成し、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い教育活動を展開する。

○ 地域とともに歩む学校づくりの推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会・地域産業への参画意識を高めることで、学校を支える基盤である地域社会・地域産業と、そこで学んだ人材が将来にわたって循環し地域とともに歩めるように、学校づくりを推進する。

4 設置形態

- | | |
|----------|---|
| (1) 課 程 | 全日制の課程 |
| (2) 学 科 | 普通科（クリエイティブスクール）
機械科（工業に関する学科）
電気科（工業に関する学科）
建設科（工業に関する学科）
デザイン科（工業に関する学科） |
| (3) 学校規模 | 全日制の課程 720名程度
普通科 240名程度
（各学年80名程度 2学級規模を3学級展開）
機械科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
電気科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
建設科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
デザイン科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度）
※ 学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定 |
| (4) 修業年限 | 3年 在学年限は原則として6年 |

- (5) 学 期 3 学期制
 (6) 履修形態 学科ごとの科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
 (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉(予定)

	6 校時時程 (週 5 日)
ショートホームルーム	8 : 45～8 : 50
1 校 時	8 : 55～9 : 45
2 校 時	9 : 55～10 : 45
3 校 時	10 : 55～11 : 45
昼 休 み	11 : 45～12 : 30
4 校 時	12 : 30～13 : 20
5 校 時	13 : 30～14 : 20
6 校 時	14 : 30～15 : 20
ショートホームルーム	15 : 25～15 : 30
清掃	15 : 30～15 : 40

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集 (中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法

〈普通科 (クリエイティブスクール)〉

事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。
 学力検査を課さず、「特色検査 (面接及び自己表現検査)」を実施する。

〈専門学科 (工業)〉

事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針

- 在籍 3 年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 普通科 (クリエイティブスクール) においては、わかることが実感できる学びを重視した教育を提供するため、すべての学習活動で 1 クラスの人数を 30 人程度で構成し、少人数指導等の工夫をした授業展開を行う。

- 専門学科（工業）においては、専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。

（２）教育展開の方針

- すべての教科・科目を通して「創造力」及び「実践力」の育成を図るため、各学科において基礎的な科目から応用・発展的な科目までを設置するとともに、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮し、教科等横断的な視点で系統的な教育の展開を図る。
- 普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）の併置の特色をいかした学びの充実及び、いずれの学科の科目も履修できる教育を展開するとともに、幅広い地域資源を活用した教育を展開する。
- 普通科（クリエイティブスクール）においては、共通教科・科目を中心に設置し、確かな学力の定着に取り組み、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るとともに、教養を身に付けた自立した社会人を育成する。
- 専門学科（工業）においては、共通教科・科目及び専門教科・科目をバランスよく設置するとともに、教科等横断的な視点で展開し、確かな知識や技能・技術及び発展的な応用力の定着に取り組み、幅広い教養を身に付け自立した社会人を育成する。

（３）編成の方針

- 共通履修科目及び工業に関する学科の専門科目、必修選択科目、自由選択科目で構成する。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じて設定した課題について、普通科（クリエイティブスクール）においては総合的な探究の時間で、専門学科（工業）においては課題研究等での発表・討論等を通して知識及び技能の深化・統合化を図る。
- 地域の教育力や県立高校生学習活動コンソーシアム等を活用し、学校外での学修成果による単位認定を行う。
- 集中講座や学習内容の習熟の程度に応じた学習等、柔軟な履修形態による学習活動を展開する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科 (クリエイティブスクール)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 学年		現代の国語②		言語文化②		地理総合②		公共②		数学Ⅰ④			科学と人間生活②		体育③			保健①		音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③		情報Ⅰ②		社会福祉基礎②		総合的な探究の時間①		LHR①
2 学年	文系	論理国語③		文学国語④			歴史総合②		数学Ⅰ②		生物基礎②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅡ④		家庭総合②		必修選択α②		必修選択β②		総合的な探究の時間②		LHR①			
	理系	論理国語③		歴史総合②		数学Ⅱ④		数学Ⅰ②		物理基礎②／ 生物基礎②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅡ④		家庭総合②		必修選択α②		必修選択β②		総合的な探究の時間②		LHR①				
3 学年	文系	論理国語②		国語表現②		地理探究／日本史探究／世界史探究④			政治・経済②		数学Ⅰ②		体育②		家庭総合②		英語コミュニケーションⅢⅡ④／ 英語コミュニケーションⅢⅡ④		自由選択α①／ 自由選択β②		自由選択β②		自由選択γ①／ 自由選択γ②		総合的な探究の時間②		LHR①			
	理系	国語表現②		政治・経済②		数学Ⅱ／数学Ⅲ④			物理／化学／生物④		体育②		家庭総合②		英語コミュニケーションⅢⅡ④／ 英語コミュニケーションⅢⅡ④		自由選択α①／ 自由選択β②		自由選択β②		自由選択γ①／ 自由選択γ②		総合的な探究の時間②		LHR①					

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 2 学年必修選択 α (2 単位)

音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、[工] 工業技術基礎②

◇ 2 学年必修選択 β (2 単位)

論理・表現Ⅰ②、[家] 保育基礎②、[福] 介護福祉基礎②、[体] スポーツⅡ②

◇ 3 学年自由選択 α (0～2 単位)

音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、論理・表現Ⅰ②※₁、情報Ⅱ②、[工] 製図（建設）②、
[家] 保育基礎②※₁

◇ 3 学年自由選択 β (0～2 単位)

古典探究②、数学B②※₂、物理④※₂、※₃、論理・表現Ⅰ②※₁、情報Ⅰ②、
[工] 実習（機械）②、[工] デザイン実践②、[家] フードデザイン②

◇ 3 学年自由選択 γ (0～2 単位)

数学C②※₂、物理④※₂、※₃、論理・表現Ⅱ②、[工] 実習（電気）②、
[家] ファッション造形基礎②、[福] 介護実習②、[体] スポーツⅡ②※₁、
[音] 演奏研究②、[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道（芸）②**

※1 2 学年必修選択で履修した科目は、3 学年自由選択で選択できない。

※2 理系のみが選択可能。

※3 物理④を選択する場合は、3 学年自由選択 β 及び自由選択 γ で選択する。
(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

< 主な科目 >

普通科と工業科の併置の特色をいかした科目について

普通科と工業科の併置の特色をいかし、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い教育活動を展開する。普通科における工業の教科・科目の選択を可能とする教育課程を編成するため、工業技術基礎のような工業に関する科目を設置し、機械、電気、建設、デザインに関する基礎的・基本的な内容を学ぶ。

工業技術基礎 (2 単位)

機械、電気、建設、デザインに関する基礎的・基本的な内容を学び、実習等の実践的・体験的な学習活動をとおして、知識・技術を身に付けるとともに他者と協働しながら課題を解決する力を育成する。

実習（機械） (2 単位)

機械加工の実習をとおして、工学的な見地から製図や金属材料について学び、「ものづくり」の基本的な知識・技術を身に付ける。

実習（電気） (2 単位)

電気の実習をとおして、身近な電気について学び、電気に関する基本的な知識・技術を身に付ける。

製図（建設）（2単位）

建設分野に関する製図について学び、CAD ソフトを利用して簡単な建築図面を作図し、構造や部材、建築図面の読み方等、住宅建築に関する基礎的な知識・技術を身に付ける。

デザイン実践（2単位）

工業におけるデザインについて学び、マーケティング、造形原理、視覚伝達デザイン、製品デザイン、環境デザインに必要な資質・能力を育成する。

「学び直し」による基礎学力の定着について

高等学校の学習内容の定着を図るため、必要に応じて各教科において義務教育段階での学習の確実な定着をめざし、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開する。生徒がわかることを実感し、主体的・協働的に学習に取り組む態度を育成する。

数学Ⅰ（4単位）

数と式、図形と計量等についての基本的な概念や原理・法則の知識の定着を図り、生徒がわかることを実感するとともに、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する。

英語コミュニケーションⅠ（3単位）

聞くこと、読むこと、話すこと（やり取り）、話すこと（発表）、書くこと等についての基本的な知識や技能の定着を図り、生徒がわかることを実感するとともに、適切に表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

福祉に関する科目について

社会福祉基礎（2単位）

手話や車いす、ベッドメイキング等の実践的・体験的な学習活動を通して、福祉に関する知識と技術を身に付けるとともに、人権尊重や福祉の理念を学ぶことで倫理観や他者を思いやる心を育成する。

○ 工業科（機械科）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 学年	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③			科学と人間生活②		体育③			保健①	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③		工業技術基礎③			製図②		工業情報数理②		機械設計②		総合的な探究の時間①		LHR①
2 学年	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④			物理基礎②		体育②			保健①	英語コミュニケーションⅡ②		家庭基礎②		実習⑥					製図②		機械設計②		総合的な探究の時間①		LHR①
3 学年	国語表現②		地理総合②		数学A②		体育②		英語コミュニケーションⅡ②			課題研究③		実習③		製図②		機械設計②		必修選択α④			必修選択β②		必修選択γ②		LHR①		

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択 α（4 単位）※₄

数学Ⅲ④、[工] 原動機②、[工] 機械工作②

◇ 3 学年必修選択 β（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学Ⅲ④、物理④※₅、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] 自動車工学②

◇ 3 学年必修選択 γ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学Ⅲ④、物理④※₅、[工] 実習（機械）②、
[家] ファッション造形基礎②、[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、
[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道②（芸）**

※₄ 必修選択 α は、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※₅ 3 学年必修選択で物理を履修する場合は、必修選択 β と必修選択 γ で物理を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

○ 工業科（電気科）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 学年	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③		科学と人間生活②			体育③			保健①	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③			工業技術基礎③		工業情報数理②			電気回路④			総合的な探究の時間①		LHR①
2 学年	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④		物理基礎②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅡ②	家庭基礎②		実習③			電気回路②		電力技術③			電子技術②			総合的な探究の時間①		LHR①
3 学年	国語表現②		地理総合②		数学A②		体育②		英語コミュニケーションⅡ②		課題研究③		実習③		製図②		電力技術②		必修選択α④		必修選択β②		必修選択γ②						LHR①

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択 α（4 単位）※₄

数学Ⅲ④、[工] 通信技術②、[工] 電気機器②

◇ 3 学年必修選択 β（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学B②、物理④※₅、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] ハードウェア技術②

◇ 3 学年必修選択 γ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学C②、物理④※₅、
[工] プログラミング技術②、[家] ファッション造形基礎②、
[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、[美] ビジュアルデザイン②、
実用書道②（芸）

※₄ 必修選択 α は、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※₅ 3 学年必修選択で物理を履修する場合は、必修選択 β と必修選択 γ で物理を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

○ 工業科（建設科）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
1 学年	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③			科学と人間生活②			体育③		保健①	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②			英語コミュニケーションⅠ③			工業技術基礎③			製図②		工業情報数理②		建築構造		総合的な探究の時間①	LHR①
2 学年	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④				物理基礎②			体育②		保健①	英語コミュニケーションⅡ②		家庭基礎②			実習③			製図③		建築構造②		建築計画②		総合的な探究の時間①	LHR①
3 学年	国語表現②		地理総合②		数学A②		体育②	英語コミュニケーションⅡ②				課題研究③			実習③			製図②		建築施工②			必修選択α④			必修選択β②		必修選択γ②		LHR①

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択 α（4 単位）※₄

数学Ⅲ④、[工] 建築計画②、[工] 建築法規②

◇ 3 学年必修選択 β（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学Ⅲ④、物理④※₅、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] 建築構造設計④※₅、

◇ 3 学年必修選択 γ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学Ⅲ④、物理④※₅、[工] 建築構造設計④※₅、
[家] ファッション造形基礎②、[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、
[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道②（芸）**

※₄ 必修選択 α は、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※₅ 3 学年必修選択で物理、建築構造設計を履修する場合は、必修選択 β と必修選択 γ で物理、建築構造設計を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

○ 工業科（デザイン科）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1 学年	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ③		科学と人間生活②		体育③		保健①		音楽Ⅰ／美術Ⅰ／書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ③		工業技術基礎②		実習②		製図②		工業情報数理②		デザイン実践①		総合的な探究の時間①		LHR①
2 学年	言語文化②		歴史総合②		数学Ⅱ④		生物基礎②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅡ②		家庭基礎②		課題研究②		実習⑥		製図②		総合的な探究の時間①		LHR①				
3 学年	国語表現②		地理総合②		数学Ⅲ④		体育②		英語コミュニケーションⅡ②		課題研究④		実習④		デザイン実践②		必修選択Ⅰ④		必修選択Ⅱ②		必修選択Ⅲ②		LHR①						

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 3 学年必修選択Ⅰ（4 単位）※₄

数学Ⅲ④、[工] 実習（デザイン）②、[工] デザイン史②

◇ 3 学年必修選択Ⅱ（2 単位）

文学国語②、古典探究②、数学Ⅲ④、物理④※₅、情報Ⅰ②、論理・表現Ⅰ②、
[家] フードデザイン②、[工] デザイン材料②

◇ 3 学年必修選択Ⅲ（2 単位）

論理国語②、日本史探究②、数学Ⅲ④、物理④※₅、[工] デザイン実践②、
[家] ファッション造形基礎②、[体] スポーツⅡ②、[音] 演奏研究②、
[美] ビジュアルデザイン②、**実用書道②（芸）**

※₄ 必修選択Ⅰは、数学Ⅲまたは工業に関する科目を選択する。

※₅ 3 学年必修選択で物理を履修する場合は、必修選択Ⅱと必修選択Ⅲで物理を選択すること。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

<主な科目>

普通科と工業科の併置の特色をいかした科目について

普通科と工業科の併置の特色をいかし、高等学校の学習内容の定着を図るため、必要に応じて義務教育段階での学習の確実な定着をめざし、学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開するとともに、生徒一人ひとりの進路希望に対応できるよう、発展的な内容を学習する。また、総合的な探究の時間や課題研究等において、普通科で実施している「福祉」の視点も取り入れる等、他者と協働しながら課題を解決する力を育む。

国語表現（2単位）

生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、表現力の基盤となる論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるような資質・能力を育成する。

数学Ⅰ（3単位）

生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、数と式、図形と計量等についての基本的な概念や原理・法則の知識の定着を図り、数学的活動を通して、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的に考える資質・能力を育成する。

総合的な探究の時間（2単位）

探究の見方・考え方を働かせ、自己の進路に関する課題や教科横断的な学習等として、自己の在り方生き方を考えながら課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。また、探究活動で学んだ情報を集め、整理・分析する資質・能力を課題研究で活用し、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

（5）学習指導の工夫

- 自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的・協働的に学習に取り組むことをめざし、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開することで、わかることが実感できる、きめ細かな指導方法の充実を図る。
- 社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域連携活動を展開する等、地域の教育力を活用することで、地域社会・地域産業への参画意識の育成を図る。
- 実験・実習等の実践的・体験的な学習活動を充実させるとともに、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、個別最適な学びや協働的な学びを充実させる。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、生徒の主体性や達成感、責任感を涵養するとともに、様々な個性を相互に尊重し、コミュニケーションを大切にしたりより良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。
- 家庭との綿密な連携を図り、生徒が安定した学校生活を送るために、規則正しい生活習慣を形成できるよう指導・支援を行う。
- 心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣を形成することができるよう、生徒と教職員との信頼関係を育むとともに、外部機関との連携を通して、規範意識や社会性の育成を図る。
- スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）による相談・支援を行うとともに、特別支援学校や医療・福祉関係機関との連携を図る。
- 生徒の状況を的確に把握し、様々な困難を抱える生徒に対して情報共有を行いながら、一人ひとりに応じたきめ細かで適切な配慮や支援・相談体制の充実を図る。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、社会とのかかわりの中で豊かな経験を積み、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育成するため、教育活動全体を通してキャリア教育実践プログラムに取り組むとともに、組織的かつ計画的な進路指導を行う。
- 生徒一人ひとりの状況に応じて、外部機関と連携し専門的な相談・支援を行うことで、目的意識を持ち、将来のキャリアを見据えた進路目標を実現できるよう指導する。
- スクールキャリアカウンセラー（SCC）等による専門的な相談・支援を行う。

(8) 学校経営

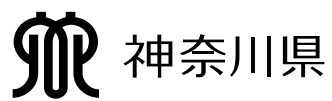
- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- 両校がこれまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における学年制普通科（クリエイティブスクール）及び専門学科（工業）の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における学年制普通科（クリエイティブスクール）及び専門学科（工業）の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）

神奈川工業高校
定時制
（単位制による普通科・工業科併置）
設置計画（案）

令和7年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 神奈川工業高等学校
- (2) 位置 神奈川工業高等学校敷地（横浜市神奈川区平川町19-1）
- (3) 実施年度 令和8年度

2 設置の目的

- 生徒一人ひとりの興味・関心や進路に応じた多様な学習ニーズに対応するため、工業に関する学科（機械科、電気科、建設科）を単位制に改編する。
- 単位制による普通科を新たに設置し、生徒一人ひとりの多様な学習ニーズに応じた教育活動を展開する。
- 普通科と工業科との併置の強みをいかした学びを展開し、教育力の向上を図るとともに、生徒の学習状況等の実態に応じたきめ細かな支援を行う。

3 基本的コンセプト

- 単位制による普通科と工業科を併置した定時制課程としての教育の展開
- 基礎学力の向上をめざした教育活動の展開
共通教科・科目による構成を基本とした教育課程編成と、年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程による年次進行型での運用により、共通性の確保とより一層の学力の向上を図る教育を展開する。
- 普通科としての学習の取組みと教育の展開
共通教科・科目を中心とした教育課程を編成し、各教科に関する基礎的・基本的な知識・技能の習得及び、思考力・判断力・表現力等の育成に取り組む。また、豊かな社会性を身に付け、主体的に学習に取り組むことができる人材の育成をめざし、生徒一人ひとりの多様な学習ニーズに応じた教育活動を展開する。

○ 工業科としての学習の取組みと教育の展開

工業科の特色をいかした教育課程を編成し、機械・電気・建設に関する基礎的・基本的な知識・技術の習得及び、課題解決力等の育成に取り組む。また、実践的・体験的な学習活動を通して、産業界の求める人材の育成をめざした工業教育を展開する。

○ 学科併置による幅広い教育の展開

普通科及び工業科の特色をいかしつつ、学科間の連携を深め、学科相互の関連を図る学習を可能にする教育課程を編成し、生徒一人ひとりの興味・関心に応じた幅広い教育活動を展開する。

○ 単位制による柔軟な学びの展開

生徒の多様な学習ニーズに応じた幅広い教育活動を展開し、学習の機会を拡大するとともに、生徒一人ひとりの進路等の目標の実現に向けて、きめ細かな支援を行う。

○ これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育の展開

社会の変化や産業界の動向を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力を育成するために、教科等横断的な視点で教育課程を編成し、I C T機器の活用も含めた、実践的・体験的な学習活動を展開する。

4 設置形態

(1) 課程 定時制の課程

(2) 学科 単位制による普通科

機械科（工業に関する学科）

電気科（工業に関する学科）

建設科（工業に関する学科）

(3) 学校規模 定時制の課程 700名程度

普通科 280名程度（各学年70名程度 2学級規模程度）

機械科 140名程度（各学年35名程度 1学級規模程度）

電気科 140名程度（各学年35名程度 1学級規模程度）

建設科 140名程度（各学年35名程度 1学級規模程度）

※ 学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定

(4) 修業年限 3年又は4年

(5) 学期 2学期制

(6) 履修形態 共通履修科目及び選択科目による履修

(7) 授業展開 45分4限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	4校時時程（週5日）
始業前1校時	15：10 ～ 15：55
始業前2校時	16：00 ～ 16：45
夕 食	16：45 ～ 17：30
ショートホームルーム	17：30 ～ 17：35
1 校 時	17：40 ～ 18：25
2 校 時	18：30 ～ 19：15
3 校 時	19：20 ～ 20：05
4 校 時	20：10 ～ 20：55
ショートホームルーム	20：55 ～ 21：00

5 入学者選抜

- （1）募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- （2）選抜の区分 共通選抜及び定通分割選抜
- （3）選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- （1）基本的方針
 - 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
 - 工業科においては、専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。
- （2）教育展開の方針
 - 普通科と工業科の併置の特色をいかした学習の充実及び、いずれの学科の科目も履修できる教育を展開するとともに、地域の教育力を活用した教育を展開する。
 - 社会の変化を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力を育成するため、ICT機器を活用するとともに外部資源を活用した教育活動を展開する。

- 学び直し科目や外国につながるのある生徒を対象とした日本語支援科目等を設置し、基礎学力の定着や主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- 普通科においては、共通教科・科目を中心に設置し、目標達成のために生徒が自ら考え行動することができる学習活動を通して、思考力・判断力・表現力等の育成をめざす。
- 工業科においては、各専門分野の専門性の向上を図る教育に重点を置き、実践的・体験的な学習活動を通して課題解決力等の育成をめざす。

(3) 編成の方針

- 共通履修科目及び工業に関する学科の専門科目、必修選択科目、自由選択科目で構成する。
- 単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程の運用に取り組む。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じて設定した課題について、普通科においては総合的な探究の時間で、工業科においては課題研究での発表・討論等を通して知識及び技能の深化・統合化を図る。
- 学習の機会を拡大するため、学校教育における外部機関との連携や県立高校生学習活動コンソーシアム等を活用し、また、他の高等学校における学習成果や技能審査の成果等、学校外での学修成果による単位認定を行う。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

																					定通併修		
1 年次	4 修制	現代の国語②	公共②	数学Ⅰ②	人間生活②	科学と 体育②	保健①	英語コミュニケーションⅠ②	情報Ⅰ②	理数探究基礎①	英語基礎Ⅰ①	数学基礎①	英語基礎Ⅰ①	LHR①	日本語A②								
	3 修制															数学A②	生物基礎②						
2 年次	4 修制	言語文化②	地理総合②	数学Ⅰ②	化学基礎②	体育②	保健①	英語コミュニケーションⅠ②	家庭基礎②	英語基礎Ⅱ①	英語基礎Ⅱ①	必修選択α②	LHR①	日本語B②									
	3 修制														倫理②	②政治・経済	I②論理・表現						
3 年次	4 修制	歴史総合②	数学Ⅱ④	物理基礎②	体育②	美術Ⅰ②	英語コミュニケーションⅡ④	総合的な探究の時間③	LHR①	日本語B②													
	3 修制										歴史総合②	数学Ⅱ④	数学B②	物理基礎②	体育③	美術Ⅰ②	英語コミュニケーションⅡ④	総合的な探究の時間③	LHR①	日本語B②	論理国語④		
4 年次	4 修制	国語表現②	政治・経済②	数学A②	体育②	②英語コミュニケーションⅢ	必修選択A群②	必修選択B群②	必修選択C群②	必修選択D群②	総合的な探究の時間①	LHR①											

教育課程表は予定であり、変更することがある。

※ 始業前1校時及び始業前2校時において、日本語支援科目等の生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援と個別最適な学びを展開する。

定通併修の科目を履修することにより3年間で卒業可能な単位数を修得することができる(3修制)。

◇ 2年次必修選択α(2単位)

情報Ⅱ②、[工] 工業技術基礎②

◇ 4年次必修選択A群(2単位)

数学Ⅲ④※₁、[工] 機械工作②、スポーツⅡ②

◇ 4年次必修選択B群(2単位)

数学Ⅲ④※₁、美術Ⅱ②、[工] 建築構造②

◇ 4年次必修選択C群(2単位)

数学B②、[工] 電気回路②、フードデザイン②

◇ 4年次必修選択D群(2単位)

文学国語②、生物基礎②、総合的な探究の時間②

※ 1 数学Ⅲ④を選択する場合は、必修選択A群及び必修選択B群で選択する。
(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

＜主な科目＞

普通科と工業科の併置の特色をいかした科目について

普通科と工業科の併置の特色をいかし、生徒一人ひとりの興味・関心に応じた幅広い教育活動を展開するとともに、普通科における工業の教科・科目の選択を可能とする教育課程を編成するため、工業技術基礎などの科目を設置し、機械、電気、建設に関する基礎的・基本的な内容を学ぶ。

工業技術基礎（2単位）

機械、電気、建設に関する基礎的・基本的な内容を学び、実習等の実践的・体験的な学習活動を通して、知識・技術を修得させるとともに、ものづくりを通して豊かな人間性や社会性を育成する。

機械工作（機）（2単位）

機械材料の加工や工作に関する基礎を学ぶとともに、情報化やグローバル化等の産業界の動向や地域の実態にも着目することで、多角的な視野で進路を選択・実現できる能力を育成する。

電気回路（電）（2単位）

電気現象を量的に取り扱うことに関する基礎を学ぶとともに、メディア教材の活用や、実習等の実践的・体験的な学習活動を通して工業生産に関連付けて考察することで、多角的な視野で進路を選択・実現できる能力を育成する。

建築構造（建）（2単位）

建築物の構造に関する基礎を学ぶとともに、技術の進展や産業界の動向、地域の実態にも着目することで、多角的な視野で進路を選択・実現できる能力を育成する。

学び直し科目について

高等学校の学習内容の定着を図るため、義務教育段階での学習の確実な定着をめざし、1年次及び2年次において、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開する。個別最適な学びを展開し、基礎学力の定着や主体的に学習に取り組む態度を育成する。

国語基礎Ⅰ（1単位）

国語の基礎となる漢字や語句、文章読解等の学習を通して学習への興味・関心を高めるとともに、高等学校の学習内容の確実な定着をめざす。

数学基礎（1 単位）

数学の基礎となる数と計算や、数量と図形等の学習を通して学習への興味・関心を高めるとともに、高等学校の学習内容の確実な定着をめざす。

英語基礎 I（1 単位）

英語の基礎となる聞くことや読むこと、話すこと、書くこと等の学習を通して学習への興味・関心を高めるとともに、高等学校の学習内容の確実な定着をめざす。

日本語支援科目について

高等学校の学習内容の定着を図るため、外国につながるのある生徒を対象に、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた個別最適な学びを展開する。

日本語 A（2 単位）

外国につながるのある生徒を対象に、学校生活に必要な日本語を読む力や書く力、話す力を習得し、高等学校の学習に円滑に取り組むための資質・能力を養う。

日本語 B（2 又は 4 単位）

外国につながるのある生徒を対象に、敬語等の複雑な語法や語彙力、表現力を習得し、高等学校の学習に円滑に取り組むための資質・能力を養う。

○ 工業科（機械科）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21～※	定通併修		
1 年次	4 修制	現代の国語②	公共②	数学Ⅰ②	科学と人間生活②	体育②	保健①	英語コミュニケーションⅠ②	工業技術基礎③	工業情報数理③	LHR①	日本語A②	数学A②			生物基礎②									
	3 修制																								
2 年次	4 修制	言語文化②	地理総合②	数学Ⅰ②	体育②	保健①	英語コミュニケーションⅠ②	家庭基礎②	実習③	製図②	機械設計①	LHR①	日本語B②	倫理②			②政治・経済	Ⅰ②論理・表現							
	3 修制																								
3 年次	4 修制	歴史総合②	数学Ⅱ②	物理基礎②	体育②	美術Ⅰ②	実習③	製図②	機械工作②	機械設計②	LHR①	日本語B②	論理国語④												
	3 修制																歴史総合②	物理基礎②	体育③	美術Ⅰ②	課題研究③	実習③	製図②	機械工作③	機械設計②
4 年次	4 修制	国語表現②	数学Ⅱ②	化学基礎②	体育②	課題研究③	製図②	機械設計②	生産技術②	必修選択β②	LHR①														

教育課程表は予定であり、変更することがある。

○ 工業科（電気科）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21～※	定通併修		
1 年次	4 修制	現代の国語②	公共②	数学Ⅰ②	科学と 人間生活②	体育②	保健①	英語コ ミュニ ケーシ ョン	英語コ ミュニ ケーシ ョン	工業技 術基礎 ③	工業情 報数理 ③	LHR①	日本語 A②												
	3 修制													数学 A②	生物基 礎②										
2 年次	4 修制	言語文化②	地理総合②	数学Ⅰ②	体育②	保健①	英語コ ミュニ ケーシ ョン	家庭基礎②	実習③	電気回路③	LHR①	日本語 B②													
	3 修制												倫理②	②政治・ 経済	I②論理・ 表現										
3 年次	4 修制	歴史総合②	数学Ⅱ②	物理基礎②	体育②	美術Ⅰ②	実習④	電気回路③	電気機器②	LHR①	日本語 B②														
	3 修制											歴史総合②	物理基礎②	体育③	美術Ⅰ②	課題研究④	実習④	電気回路③	電気機器②	LHR①	日本語 B②	論理国語④			
4 年次	4 修制	国語表現②	数学Ⅱ②	化学基礎②	体育②	課題研究③	製図②	電力技術④	必修選択β②	LHR①															

教育課程表は予定であり、変更することがある。

○ 工業科（建設科）

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21～※			定通併修										
1 年次	4 修制	現代の国語②		公共②		数学Ⅰ②		科学と人間生活②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅠ②		工業技術基礎②		工業情報数理②		建築構造②		LHR①		日本語A②			数学A②			生物基礎②					
	3 修制																																		
2 年次	4 修制	言語文化②		地理総合②		数学Ⅰ②		体育②		保健①		英語コミュニケーションⅠ②		家庭基礎②		実習②		製図②		建築構造②		LHR①		日本語B②			倫理②			②政治・経済			Ⅰ②論理・表現		
	3 修制																																		
3 年次	4 修制	歴史総合②		数学Ⅱ②		物理基礎②		体育②		美術Ⅰ②		実習③		製図②		建築計画②		②建築構造設計		LHR①		日本語B②													
	3 修制																																		
4 年次	4 修制	国語表現②		数学Ⅱ②		化学基礎②		体育②		課題研究③		実習③		建築施工②		建築法規①		必修選択B②		LHR①															

教育課程表は予定であり、変更することがある。

※ 始業前1校時及び始業前2校時において、日本語支援科目等の生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援と個別最適な学びを展開する。

定通併修科目を履修することにより3年間で卒業可能な単位数を修得することができる（3修制）。

◇ 4年次必修選択β（2単位）

文学国語②、政治・経済②、数学A②、論理・表現Ⅰ②、自動車工学②※₂

電子回路②※₂、設備計画②※₂

※2 自動車工学は機械科、電気回路は電気科、設備計画は建設科のみ選択可能。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

<主な科目>

日本語支援科目について

高等学校の学習内容の定着を図るため、外国につながりのある生徒を対象に、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた個別最適な学びを展開する。

日本語A（2単位）

外国につながりのある生徒を対象に、学校生活に必要な日本語を読む力や書く力、話す力を習得し、高等学校の学習に円滑に取り組むための資質・能力を養う。

日本語B（2又は4単位）

外国につながりのある生徒を対象に、敬語等の複雑な語法や語彙力、表現力を習得し、高等学校の学習に円滑に取り組むための資質・能力を養う。

（5）学習指導の工夫

- ICTを活用した学習活動により、生徒一人ひとりの興味・関心に応じたきめ細かな支援を行い、個別最適な学びや協働的な学びを充実させ、学習意欲の向上につながるよう工夫する。
- 生徒同士の協働や教職員との対話の機会を設け、生徒が自ら学ぶ力を養うとともに、他者と協働する力を高めるよう工夫する。
- 生徒の学習状況を考慮し、学習内容の習熟の程度に応じた学習集団を編成する等、確かな学力の定着と向上を図るとともに、将来の進路に向けた学びの充実を図る。
- 実験・実習等の実践的・体験的な学習を充実させ、多様な課題に対応することができる課題解決力の育成を図る。

（6）生徒指導等の工夫

- 生徒に対する理解を深め、生徒一人ひとりにきめ細かな生徒指導ができるよう、ホームルーム経営の充実を図る。
- 生徒一人ひとりに応じた適切な配慮と支援を行うため、教育相談体制の一層の充実を図るとともに、生徒理解を深め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。
- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動において、生徒相互の好ましい人間関係の構築をめざすとともに、自己を認め、他者を尊重し、差別や偏見の心を持たない豊かな人間性を育む。

- 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣を形成することができるよう支援を行う。
- 生徒指導の充実を図り、安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できるような資質・能力を育成する。

(7) 進路指導の工夫

- 入学から卒業までの体系化したキャリア教育の実践により、社会を構成する一員としての生徒の自覚を育み、充実した将来をめざす指導を実施する。
- 学科併置の強みをいかし、生徒自身が多角的な視点をもって進路を選択・実現していけるよう、学科横断的な進路指導・支援に取り組む。
- 生徒一人ひとりの能力や自己の将来の適性について考える機会を設け、自己実現ができるよう支援する。
- 言語活動の充実に努め、コミュニケーション能力の向上を図る。
- 体系的なキャリア教育を行い、多様な背景を持つ生徒の自己実現を支援する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- これまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 定時制課程における単位制普通科及び専門学科（工業）の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 定時制課程における単位制普通科及び専門学科（工業）の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 〒231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256

県立高校改革実施計画（Ⅲ期）

神奈川総合産業高校
定時制
（単位制による普通科）
設置計画（案）

令和 7 年 3 月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 神奈川総合産業高等学校
- (2) 位置 神奈川総合産業高等学校敷地(相模原市南区文京 1-1-1)
- (3) 実施年度 令和8年度

2 設置の目的

- 生徒の多様な教育的ニーズに応じた教育を展開し、基礎・基本となる学力の定着を図るとともに、生徒の進路希望の実現に向けて柔軟に対応できる単位制普通科高校に改編する。
- 単位制の利点をいかしつつ、共通教科・科目を中心とした教育課程にすることにより、生徒の学習ニーズ及び進路希望等、生徒の状況に対応した一層きめ細かな指導を行えるよう取り組む。
- 既存の充実した施設設備を活用した学びを展開し、教育力の向上を図る。

3 基本的コンセプト

- 単位制による普通科を設置した定時制課程としての教育の展開
- 社会・職業への円滑な適応に向けた教育活動の展開
一人ひとりの将来の進路を決定するために必要な勤労観・職業観や社会的・職業的自立に向けて、地域社会との連携・交流を図りつつ、社会・職業への円滑な適応に向けた教育活動の充実を図る。
- 単位制による柔軟な学びの提供
基礎学力の向上をめざすとともに、生徒の多様な学習ニーズに応じた幅広い教育活動を展開するため、基礎的科目に加えて発展的科目を設置する。
さらに、学校外における学修や学校間連携・課程間併修を活用することで、幅広い学習の機会を提供する。

○ 特別活動の活性化・各種支援の充実

より豊かで多様な人間関係を築きながら、自己のよさや可能性を認識するとともに、必要な資質・能力の育成ができるよう、異年次集団活動や特色ある学校行事の活性化を図る等、多様な人々と協働する機会を充実させる。

○ 既存の施設設備の十分な活用

既存の充実した施設設備を活用し、生徒の多様な学習ニーズに応じた教育活動を展開することで、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図る。

4 設置形態

- (1) 課 程 定時制の課程
- (2) 学 科 単位制による普通科
- (3) 学校規模 定時制の課程 420名程度
普通科 420名程度(各学年105名程度 3学級規模程度)
※ 学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年又は4年
- (5) 学 期 2学期制
- (6) 履修形態 共通履修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 45分4限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉(予定)

	5校時相当時程(週5日)
0 校 時	16:20～17:05
夕 食	17:05～17:30
ショートホームルーム	17:30～17:35
1 校 時	17:40～18:25
2 校 時	18:30～19:15
3 校 時	19:25～20:10
4 校 時	20:15～21:00

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集(中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
- (2) 選抜の区分 共通選抜及び定通分割選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本的方針

- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 単位制による柔軟な学びを提供し、基礎的科目に加え発展的科目を設置することで、多様な学習ニーズに対応し、生徒の進路希望の実現に向けた幅広い学習の機会を提供する。

(2) 教育展開の方針

- 基礎的科目や発展的科目を設置し、基礎学力の定着と向上をめざすとともに、勤労観や職業観を養うため、社会的・職業的な自立を促進する学びの充実を図る。
- 生徒の進路希望の実現に向けて支援するとともに、卒業後も社会の一員として多様な資質・能力を発揮できる教育を展開する。
- 生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、基礎学力の確実な定着を図り、きめ細かな学習支援により、個々の学習ニーズに応じた学力の向上を図る。
- 学校行事や生徒会活動・部活動等生徒の主体的な活動を通して、互いに認め、ともに高めあう豊かな人間性を育み、社会に貢献できる人材を育成する。

(3) 編成の方針

- 個別最適な学びの実現に向け、基礎的科目から発展的科目までを設置する。
- 生徒一人ひとりの個性や能力の伸長を図るため、単位制の利点をいかした多様な科目選択を可能とする。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21～※
1 年次	現代の国語②		言語文化②		公共③			数学Ⅰ③			科学と人間生活②		体育②		保健①	英語Ⅰ③ コミュニケーション		総合的な探究の時間①	L H R①	自由選択①～④	
2 年次	歴史総合②		物理基礎／化学基礎 生物基礎／地学基礎②／		体育③			保健①	音楽Ⅰ／美術Ⅰ／ 工芸Ⅰ②		家庭基礎②		情報Ⅰ②		必修選択④		総合的な探究の時間①	L H R①	自由選択①～④		
3 年次	地理総合②		体育②		必修選択⑭										総合的な探究の時間①	L H R①	自由選択①～④				
4 年次	体育②		必修選択⑯										総合的な探究の時間①		L H R①	自由選択①～④					

教育課程表は予定であり、変更することがある。

※ 0校時において、日本語支援科目や学び直し科目等を設置し、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援と個別最適な学びを展開する。

また、定通併修科目等を履修することで、3年間で卒業可能な単位数を修得することができる。

◇ 1年次自由選択 (0～4単位)

学びなおす国語(国)②、学びなおす社会(地歴)①、数学A②、
 学びなおす数学(数)②、学びなおす理科(理)①、学びなおす英語(外)②、
 情報入門(情)②、日本語Ⅰ(日本語)②

◇ 2～4 年次必修選択（4～16 単位）

論理国語④、文学国語④、国語表現②、古典探究④、日本史探究④※、
 世界史探究④※、政治・経済②、**ニュースを読む（公）**②、数学Ⅰ②、数学Ⅱ④、
 数学Ⅲ④※、数学A②、数学B②、数学C②※、物理基礎②、物理④※、
 化学基礎②、化学④※、生物基礎②、生物④※、地学基礎②、
地球生物のあゆみ（理）②、保健②※、音楽Ⅰ②※、音楽Ⅱ②※、美術Ⅰ②※、
 美術Ⅱ②※、工芸Ⅰ②※、工芸Ⅱ②※、英語コミュニケーションⅡ④、
 英語コミュニケーションⅢ④※、論理・表現Ⅰ②、論理・表現Ⅱ②※、
 情報Ⅰ②※、情報Ⅱ②※、理数探究基礎②※、[家]保育基礎②、[家]服飾手芸②、
 [家]フードデザイン②、[体]スポーツⅡ②※、日本語Ⅱ（日本語）②、
 日本語Ⅲ（日本語）②※

◇ 2～4 年次自由選択（0～4 単位）

論理国語④、**ニュースを読む（公）**②、数学Ⅱ④、数学A②、
環境科学（理）②、論理・表現Ⅰ②、日本語Ⅰ（日本語）②

◇ 夏季集中講座

地域に学ぶフィールドワーク（総合）①、ボランティア入門（総合）①

※ 3～4 年次で選択することができる科目。

（単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。）

< 主な科目 >

各教科で身に付けた知識を活用し、生徒の多様な学習ニーズに応じた教育活動を展開するため、実践的・体験的な科目を設置し、自己の在り方生き方を考えながら課題を発見し解決していくための資質・能力を育成する。

ニュースを読む（2 単位）

メディアが発信するニュースを読み解き、法、政治及び経済について学習する。
 メディア・リテラシー等良識ある公正な判断力等を身に付けるとともに、主体的に生きる平和で民主的な社会の形成者に必要な資質・能力を育成する。

地球生物のあゆみ（2 単位）

地球の誕生から生物の発生および進化について基本的な概念や原理・法則について学習する。科学的に探究するために必要な観察、実験等に関する基本的な技能を身に付けるとともに、生命の歴史について科学的に探究するための資質・能力を育成する。

地域に学ぶフィールドワーク（1単位）夏季集中講座

神奈川を中心とした地域の歴史や文化、自然環境、地域産業等を現地や施設・博物館等での観察・調査を通して学習する。地域の歴史や自然及び社会への理解を深め、課題の発見と解決に必要な知識・技能を育成する。

ボランティア入門（1単位）夏季集中講座

現代社会における福祉の意義や現状、ボランティア活動における基本的な知識及び技能について学習する。体験活動等を通して課題発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、考察する力を養う。また、福祉の心や豊かな人間性及びボランティア精神を育成する。

学び直し科目について

高等学校の学習内容の定着を図るため、義務教育段階での学習の確実な定着をめざし、1年次において、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開する。個別最適な学びを展開し、基礎学力の定着や主体的に学習に取り組む態度を育成する。

学びなおす国語（2単位）

義務教育段階での学習の確実な定着や高等学校における学習内容の基礎固めのため、体系的・系統的な学習活動を展開する。言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、日本語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

日本語支援科目について

高等学校の学習内容の定着を図るため、外国につながるのある生徒を対象に、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた個別最適な学びを展開する。

日本語Ⅰ（2単位）

外国につながるのある生徒を対象に、日常的な場面で使われる初級から中級にかけての日本語について、文字、語彙、文法事項等を理解し、高等学校の学習に円滑に取り組むための資質・能力を養う。

(5) 学習指導の工夫

- 確かな学力を育成するために学び直し科目を設置し、基礎・基本となる学力の確実な定着を図る。特に、外国につながるのある生徒への日本語指導や特別な支援を必要とする生徒への学習指導を充実させる。
- 多様な進路実現を可能とする学習指導や、社会生活に必要な幅広い教養の習得を図る等、各科目のねらいを明確にした学習指導計画を立てる。
- ICTを利活用した学習活動により、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、個別最適な学びや協働的な学びの実現を図る。
- 各教科・科目や「総合的な探究の時間」において、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力等の育成をめざした探究活動を実践する。

(6) 生徒指導等の工夫

- 地域社会や高等教育機関及び企業等と連携・交流を図り、勤労観・職業観を育む。
- 特別活動では異年次集団での活動を充実させる等、社会の一員としての自覚を深め、互いに認め、ともに高めあい、豊かな人間性を備えた人材の育成に向けた指導を行う。
- 生徒と教職員との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育むとともに、学校全体で生徒の状況を的確に把握し、外部機関との連携を図り、生徒一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を行う。
- 生徒を誰一人取り残すことのない教育相談体制を確立できるようスクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）を活用した支援体制を充実させる。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じて、計画的・組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かな指導や、進路希望に対応したガイダンス機能の充実を図る等、キャリア支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- これまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 定時制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 定時制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256